

第3部 生命保険業界における取組み

おわりに

生命保険協会では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた、スポーツに係る機運の高まりを先行的に捉え、運動・スポーツ習慣づくりの醸成を図り、健康意識の向上に繋げることを目的に、「健康増進サポートプロジェクト」を実施いたしました。

国民の皆さまの健康増進への関心は非常に高く、地域や企業においてスポーツを通じた様々な健康づくりの取組みが進められており、政府における施策や産官学が連携した取組みとあわせて広く公表することで健康寿命の延伸に貢献するため、今回「健康増進サポートプロジェクト報告書」を作成いたしました。

本報告書作成にあたっては、スポーツ庁を始め、有識者の皆さまに多大なるご協力をいただき御礼申し上げます。

世界保健機関 (WHO) 憲章において、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも精神的にもそして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」とされています。

「身体を動かそう、運動してみよう」という意識を持つことは、健康へのプラス効果にとどまらず、周りの方々との共生を生み、広くコミュニティを形成する契機にもなります。そうした行動変容の連鎖が更なる大きな輪となり、地域の活性化や企業の生産性の向上などの効果に繋がることは、健康長寿社会の実現に不可欠な要素であると考えます。

加えて、自らが身体を動かすことの楽しさを体現し、スポーツへの関心が高まれば、「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツ参画人口の拡大が図られ、スポーツの振興にも寄与するものと考えます。

生命保険協会としては、長期にわたってお客さまの人生を支えるという生命保険の使命に鑑み、一人ひとりが健やかで心豊かな生活をより長く送れるよう、引き続き、健康増進啓発活動を通じて健康長寿社会の実現に貢献してまいります。

以上
平成30年6月